

刊夕日五十二月八

# 常磐每日新聞

定價 一部五錢 月刊五拾錢 郵費五錢  
廣告料 五號十二字 日一行 金五拾錢  
日曜祭日の翌日休刊  
發行所 常磐毎日新聞社  
編輯部 常磐毎日新聞社  
印刷所 常磐毎日新聞社

## 如來とは何ぞや

真・織・雲・山

(承前) 如來とは何にひとしいのかといへば、真理にひとしいのである。真理にひとしい故に真如である。真理の如くして來るから如來である。真理とは何ぞや、真理とはまことの道である。真理はいつまでも、何處でもまことの道理のままであつて寸分、違ふことはない。柳は緑、花は紅、煙は昇り、水は流れるのが真理である。ところが、それを眺める人間の方で、金や名譽などといふ慾の眼鏡で計度するから、白いものが黒く見えたり、反對黨が國賊に見えたりして、げん骨で黑白を争はねばならぬ羽目に立ち到るのである。黑白を争ふのは戲論であつて、黒といふても白といふても實体に變りはない。言説は實の體にあらず、實の體は真理そのものであつて、まことの道に二つはない、それが二つにも三つにも見えて甲是乙非を争ふといふのは真理の通りに動いてゐるのではなくして政權慾、名譽慾といふ煩悩がはたらいてゐるので、これを凡夫とは申す。形あるものは必ずこわれる、生あれば死ありと

いのが、真理であつて、それを死にとむないといふて藻掻くのは真理を真理と知る智慧が足りないからである。完全な智慧の光りを得られたならば、さういふ間違つたことは考へなくなる。煩惱迷妄の無明を掃ひ無上正偏智を得て悟りを開き、正覺に到るの道を教へたものが佛教であり、そこに體達して來現化益の行に ついたものが如來である、尊勝陀羅尼に示されたサラバタタギヤタの一句だけで、すら、實に斯くの如き無量の深義を私たちに物語る。……完……

## 北滿便り

日本憲兵隊 草野村出身 邊渡美太郎

一、位置  
寧古塔は蘇滿國境、ボクラニチナヤと吟爾賓の略中間に在る森林站の南方約六邦里の地点、即ち北緯四四度四分、東經一二九度四分に在り、西方南方鏡泊湖より東北方に流る、牡丹江の左岸、海拔七百七十尺の高地にして、東南に牡丹江の流を西に夢香山西南遙に老黒山を望み市街は東西に細長く牡丹江に向つて市街をなし寧安縣公署の所在地にして吉林省中

## の樞要地なり

二、沿革  
寧古塔は周代に於ける肅慎漢代に於ける挹婁南北朝時代に於ける勿吉の故地である。隨代勿吉の七部はまつかつの名を以て呼ばれ唐高句麗を滅すやまつかつ七部中の一たる粟末まつかつ(粟末水は松花江の故名)漸次強盛を加へて震國と稱し更に渤海と號した渤海の上京龍泉府は今の寧古塔の西方七十支里東京城の地が即ちそれである。  
遼の始祖契丹の君長阿保機渤海を討滅して東丹と改めた金遼を滅するや初め近くに就き渤海の上京を以て都と定め後上京を按出虎に遷し渤海を改め東京とした、盛京通誌に曰く南長白を仰ぎ北は龍江連る誠に邊鎮の雄區なり會て金の帝都とせるはこれに因れりと更に元代に在つては最初の南京萬戸府であり明代に在りては努兒干都司の首府としてねい古塔に屬する衛四十八、所三、地面二、站一を數へた清初に在りては窩集ぬい古とうの路であり後に昂邦章京を設け更に改めて鎮守ぬい古とう等處將軍となし一度泰ぬい縣を置き後縣を撤して將軍を吉林に移し副都統を留めて鎮守せしめ綏芬廳を置いたのであるが光

緒三十三年に至つて副都統を廢し宣統年東ぬい廳を經芬廳を府に昇し更に改めてぬい安府としたが民國二年三月に至つて是れを縣に改めたのである。

## 藤沼醫院

平町紺屋町 電話五〇七番

専門  
産科 婦人科 花柳病科  
◎入院應需  
井坂醫院  
平町田町 電話五五九番

CAFE SEKAI  
紅、そして青の灯の下に  
美女のくむ緑酒を知る御身よ  
さらば來り召せ  
吾が世界のハレムへ。  
カキリ音界  
美しいオアシス世界の麗女は  
いと久しく御身の來るを  
心して待てり……  
平町新川町 電話七四七番

旭硝子株式會社製品  
赤菱印  
板ガラス  
菓子食器  
硝子壺  
其他各種  
松崎硝子製作所  
平町新川町(電話一四二番)  
仙臺市榮町(電話五九七番)

御料鹽 豚  
田町 三三三三屋  
電話三三三番

## 金銀高價買入 根本時計店

質札は(金時計鎖指輪類)有利に御相談致します  
平町田町 丸新デパート

## 石炭の大特賣

●塊炭 正味十貫目 俵 金貳拾錢  
▼『品方良ク』値が安ク  
『目方ハ正確』デス  
▽トニカク一度……  
使ツテ見テ下サイ  
●配達ハ一俵ヨリ致シマス  
御注文ハ  
電話三七番  
平町前  
阿部石炭商店

## 外科 X光線科 性病科

平町田町  
安齊外科醫院  
電話四七五番

# 矢吹教員の遺産問題

## 逐に刑事事件

### 財産横領の事實を挙げ

#### 法廷にその黑白を争ふ

#### 俄に検事局の緊張

平第二小學校の元裁縫教員であつた矢吹キク子女史が爪に火を灯す様な思ひで數萬圓の財産を積み上げ本年五月十五日突然

#### 死亡して後同遺産を

かこんで骨肉相食の醜い争鬭を噂されて居り既に平支部に於ける民事事件として紛争を續けて居たが今回遂に問題は

#### 悪化し刑事事件とし

て其の黑白を法廷に争ふ事となり石城郡夏井村大字荒田目字高原五番地矢吹正治(三)は後見人谷平治一を代理人として同村大字荒田目字石崎十六番地矢吹彌工門(三)を相手取り昨日平検事局に私文書偽造行使及び

#### 横領の訴を提起した

ので平検事局は俄然緊張し市川検事係りの下に極秘裡に活動を開始した、告訴の内容を仄聞するに告訴人正治は前記矢吹教員の相續人であるが被告訴人彌工門は何等故人と關係のないにも拘らず死亡

#### 當日に矢吹教員

有せる貯金通帳、印鑑其他重要書類を隠匿した揚句其翌日矢吹教員の委任状を偽造して紺屋町郵便局より約千圓を拂下げ其の後同教員が生前各方面への貸金あつたのを勝手に減額し或いは書換へをなす等遺産横領を企てたといふにある

## 公會堂

### 建設可決

#### 地均工事着手

昨報本日の町會に於て公會堂建設は原案通り可決確定七八兩年度の繼續事業とし

## 小麥増殖の

### 指導地決定

#### 郡内各村町に

既報石城郡農會では小麥増殖實施の第一歩として各町村に増殖指導地の設置に就き調査中であつたが大体左記の如き指導地を各所有者に依つて行はれる事に決定

## 縣青年体本郡の陣容

### 反省と短評

#### 六、走巾跳

六米二〇以上のもの數名を有する我が石城は最も得意とする種目であり、又最も接戦となる種目でもある、連年優勝者泉選手佐藤再び覇權を握るか、五種の覇者川又あの巨體から如何程の記録を生むか、新進の名ス

プリンター草野彈丸の如く跳び上り跳び越して前二者をおさへるか全く手に汗を握るの激戦であり、接戦であつた俄然草野最初の一跳六米四七、これ實にもすごい助走の賜である、川又これも巨體とパネとを利して依然と六米四五、佐藤四

#### 平第二の豫選

平第二小學校にては今秋警中グランドに於て開催される石城郡第三區児童競技會の豫選會を九月中旬頃行ふ事に決定したが種目は五十米百米四百繼走バスケットボール等である

#### 法曹庭球試合

曹團庭球俱樂部にては本日午後二時より青年學校コートに於て團員二十一名のシングル及びダブルの紅白試合を行ふと

場菅原彌作外四名 △入遠野村大字上根本小澤保男外四名 △勿來町大字窪田小林末吉外四名

△錦村大字江栗山野邊良助外四名 △植田町大平勝雄外四名

## 遠洋漁業は

### 甚だ心細く

#### 北上の鯨群を見免す

石城各濱の鯨船は現在北上する鯨を追ふて出漁中であるが漁場は最近宮城縣金華山沖合より岩手縣釜石沖二百七八十哩附近に移つた結果石城各濱の鯨船で斯うした遠洋迄出漁し居るものは去る廿二日鯨六千匹を積んで歸港した江名町の厚盛丸外二三に過ぎない有様である

## 球技練習

### 磐城女へ指導者

磐城高等女學校球技部にては来る三十一日より五日間猛練習を行ふがコーチャーは大日本籠球會主事星野隆秀氏にて三十一日平着十時三十三分にて來平すると

## 漁港修築

### 更らに陳情

石城郡江名町字中ノ作漁港修築に就いては地元民が多年實施方を縣當局に懇願し來たが更らに今回の救濟土

## 青年競技

### 胡摩澤

平町胡摩澤青年分團にては来る二十八日午後一時より磐中グランドに於て團員の陸上競技會を催すが種目は百米二百米千米砲丸投走巾跳走高跳三段跳等であると

## 磐中平商野球

中學校及び平商業學校野球部にては本日より新人を加へ今秋十月のリーグ戦に備ふる可く練習を開始した

## 高久小麥協議

石城郡高久村農會では來入八

## 平映畫界

### 回平館 日活時代劇

清川壯司・櫻井京子主演「亂鐘の大江戸」市川右太衛門・大江美智子主演「淺香くづれ」松竹現代劇 結城一郎・花岡菊子、伊達里子主演「女の求むる男」

### 回世界館 新興時代劇

市川延松主演「おくり狼」新興現代劇 森博・花房百合子演「最後の瞬間」新興時代劇 河津清三郎・鈴木澄子主演「黒田騒動」

## 平町人喜

### 回出生

△十五丁目二四鈴木文治氏長女芳子  
△一丁目五菊地寅次郎氏三女ツヤ子  
△結婚 回 婚 姻  
△鍛冶町二六宮田誠吉氏(三二)  
南町七六小川喜代子(三三)  
△十五丁目二四鈴木文治氏(二八)  
双葉郡請戸村字川原六九吉崎キヨシ(二九)

## 耳鼻咽喉科専門

## 大和田醫院

平町南町 電一七〇

# 藝妓誘拐の手段に

## 情死を迫る

### 小名濱すま屋の花奴を一度連れ出して失敗し

### 芝居にくり言

東京市外荏原町字碑塚町一八三番商高橋政夫(三)は名濱町上明神町料理店沖見屋方に誘てより馴染を重ねて居た同町横町の藝妓屋須磨屋事小濱ヨシ方抱藝妓花奴事高田アキ(三)を招き自分も失敗したとて無理に情死を迫つたので花奴は怖氣ついで逃げ出し直ちに其筋へ此旨届出 た爲め政夫を平署に押送取調べると同人は本年四月魚取引に小名濱に來た際花奴に現を抜かして以來割りない仲となり六月下旬頃言葉巧みにアキを騙し抱主に無断で東京迄連れ出したが其後抱主に女を引戻された事ある旨判明したので今度の無理心中 も誘拐の手段ではないかと目下引續き嚴重取調中である

社は奴祭りの神社として顯かであるが来る舊曆七月廿七日が祭日に當り前日の宵祭から種々の餘興があり溝中代参團體の参拜を始め遠く東京茨城宮城方面から多數の参拜者ある由にて社務所関係者は今から準備に忙殺されて居る

### 衛生映畫 無料公開

昨夜平町で 平町長橋町高木喬君のいは新報社主催で明日午後七時より平町博覽會第一會場跡に衛生映畫の無料公開を

### 搔樋小路の鐵道踏切で

## 自動車と衝突

### 昨夜豪雨中の出來事

### 幸ひ死傷なし

平町搔樋小路菊地自動車店方運轉手佐藤末吉(三)は昨夜十時半頃七六九號貨切自動車に六間門の山根秀五郎外二名を乗せ仲間町へ向ふ途中搔樋小路の鐵道踏切通過の際豪雨の爲め先の見通しがつかず警越線側トシネルより進み來つた警越線第三十四列車機關手平田博(三)の機關車に衝突し自動車は機關部をメチャクに大破したが奇蹟的にも怪俄人なく此騒ぎに同列車は三

### 罰金延納

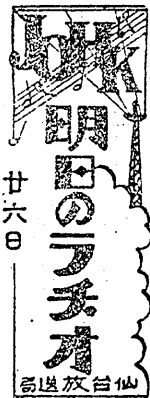
### 泣いて嘆願

石城郡小名濱町字松ノ内四十三番地大工渡邊大五郎(三)は本年五月平區裁判所に於て賭博罪に依り罰金二十圓の略式命令に處せられたが、本日平檢事局に出頭し私は目下仕事がなく例へ

### 諏訪祭禮

### 賑ひ豫想さる

石城郡渡邊村釜戸山諏訪神



明日の部 今晩は南よりの風晴れたり曇つたり一時驟雨の味明日は北西の風晴れ

### 今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間ラヂオスケッチ「山の思ひ出」東京登山聯盟會員
- 後六、三〇 夏期英語講座(十九)毛利八十太郎
- 後七、三〇 講演「本年の國際労働會議に使用しての感想」工學博士片岡安
- 後八、〇〇 人形芝居「一

### 明日の部

- 前六、三〇 家庭教育講座「特殊兒童の教育即ち天才兒と劣等兒の教育に就て」奈良女子師範學校教授 西本三十一
- 前七、〇〇 エスベラント講座(十)日本ニスベラント學會國際常設代表進藤靜太郎
- 前七、三〇 夏期兒童講座「岩手の海岸岩手縣師範學校教諭横田幸八
- 前九、一〇 料理献立「簡單な焼豚」宇多繁野
- 前九、三〇 家庭講座「新しき舞踊」(十)終高田せい子
- 後〇、〇〇 五吹奏樂 海軍

## 北滿州へ

### 移民の世話を

### 平在郷軍人分會が扱ふ

平町在郷軍人分會にては縣聯合會の指令に依り今回會員中より北滿洲への移民を募集する事となつたが資格者は分會員にして卅才以下の者、渡滿後農業に従事し

## 染色の講習

### 平女子青年團主催

平女子青年團にては来る廿八、九、卅の三日間午前九時から午後三時迄平第二校家事室に於て家庭の實用を主眼とする染色講習會を催す由であるが講師は齊藤よし子姉にて會費は不用、但し基本染方用の白布半反程と、ハサミ、糸、針等を持

### 炭礦に

### 愛の巢

### 無断の家出

岩瀬郡濱田村字前田川居住農家小林與作長女サイ(三)は本月十五日午後九時頃自

### 々樂隊指揮樂長福喜多鎮

- 後二、〇〇 婦人講座「繪を描いてと望む子供の爲に」五長崎拔夫
- 後六、〇〇 子供の時間 獨唱 永岡志津子 伴奏東京サロネーケストラ
- 後六、三〇 夏期英語講座(二十)毛利八十太郎
- 後七、三〇 講演「濱口前總裁を偲ぶ」俵孫一
- 後八、〇〇 長唄名曲演奏「秋の色種」頃杵屋勝五郎 三味線杵屋佐吉 同杵屋佐三郎
- 後八、三〇 獨唱「ふるさと」其他中間文壽
- 後九、〇〇 映畫物語「ブレジヤンの船唄」泉天嶺

### 平職業紹介所報告

- 回求人部
  - △兒守 十七迄 尋卒 月四圓(四倉町某)
  - △出前持 二十以下 尋卒 給料面談(平町某)
  - △女中 十八才 尋卒 給料面談(平町某)
  - △自轉車工見習 二十以下 尋卒 月三圓以下(平窪村某)
- 回求職の部
  - △土工夫 二十九才 尋卒 給料面談(青森縣某)
  - △旅館番頭 二十三才 中四半退 給料面談(湯本町某)

# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第百三十四席 眞庭念流の達人櫻井五助

峰吉を貰ひに

黒子の三代次の子分源太郎は要介に對ひ

源「何んで高萩身内の峰吉を採ねてお在なざる」

要「聞き度い事がある、それはどんな事だと申すに林蔵の殺されたその現場に、峰吉も參つて居つたとの事さすれば彼に尋ねたならば林蔵の死んだ態も判るであらう」

源「成程さういふ譯で採ねてお在になりましたか」

要「まだ峰吉は松岸の權右衛門の所に居るかナ」

源「それは居ります、彼奴は旅中權衛門親分から盃を貰ひ子分になつて居りますから何處へも茲當分行きま

すまい」

要「さうか、それでは松岸へ行つて峰吉に會うであらう」

と秋山は友五郎に別れを告げて、神崎を後にしてあれから佐原に參り津ノ宮から船で常陸の潮來に入り、兩三日遊んで又船にて利根川を下り銚子に來ました。

是から松岸の俠客權右衛門の許を訪ふ。秋山と云へば關八州俠客で知らぬ者は無い

權「これは先生よくお

なりました、毎度お噂を致して居りましたが、打絶え

うなされたかと旅人に聞き

ました、武州にお在なると云ふことで

要「イヤ諸方に

よ、どうだ變つた事はないか」

權「へエ香取郡の笹川の繁藏が大分近頃賣出して來ました」

要「さうか、あれは十一屋といふ家號で旅籠屋をしてゐたナ」

權「左様でございます、まだ若うございますが何事にも場慣で利發者でございます」

要「飯岡の助五郎は相變らず繁昌して居るか」

權「これは下總上總常陸にかけての大親分でございます

な顔をして

權「へエ峰吉の命が入用とはそれはどういふわけでございませう」

要「貴様も聞いたであらうが赤尾村の林蔵が昨年の正月武州上尾の宿の足立屋で横死いたしました、その殺した者は高萩身内の峰吉との事

林蔵追善の爲に其奴の命を貰ひに來た、俺に峰吉を渡してくれ」

權「畏りました、御所望ならば峰吉をお渡し申します然し先生此事を當人に知らせると直に草鞋を穿きませう又あなたの云ふ事を疑ぐ

るわけではございませせんが峯吉にも一應此事を聞いて見ます、どうぞそれまで常陸屋に行つて遊んでゐてお

くいなさいませう」

要「さうか、それでは沙汰を待つぞ」

と常陸屋といふ旅籠屋に引取つた、此方は門峯吉當時權右衛門の子分になつてゐる、在方へ遊びに行つてゐたがその日の暮方に歸つて來た

て來た

權「親分、只今戻りましてございませう」

權「オウ峯吉か此方へ來い今一杯遣り出した處だ、相手が無ければ酒がうまく飲めねえ」

峯「これは御馳走さまでございませう」

權「時にみね吉、おめえに聞く事がある、去年の正月上尾の足立屋で赤尾の林蔵を主は殺したか」

峯「エーわたしは一人で殺したといふわけではございませせん、兄弟分十八人で斬り込みましたがおかしは遅れて足立屋に行つた時二階からヒラリ飛び下りたは林蔵、目の前に奴が現はれまして竹槍で突きました」

權「ウーンさうか」



要「さうだナ、時に權右衛門、貴様は何歳になつた」

權「もう先生いけません」

要「その叶けないとは何歳の事を申すか」

權「へエ六十一でございます」

要「ウーンもう六十を越えたか、それにしても若い齒がまだ生え揃はぬやうだが俺は十三四かと思つた」

權「先生、老人を馬鹿にしちやあいやねえ」

要「ところで權右衛門貰う物があるが俺に熨斗を付けて贈くれ」

權「どんな物がお入用でございます」

要「貴様の自分の峰吉といふ者を貰ひ度い、身体は要らんよ命だけ貰つて行く」

權「權右衛門これを聞くと妙な顔をして

權「へエ峰吉の命が入用とはそれはどういふわけでございませう」

要「貴様も聞いたであらうが赤尾村の林蔵が昨年の正月武州上尾の宿の足立屋で横死いたしました、その殺した者は高萩身内の峰吉との事

林蔵追善の爲に其奴の命を貰ひに來た、俺に峰吉を渡してくれ」

權「畏りました、御所望ならば峰吉をお渡し申します然し先生此事を當人に知らせると直に草鞋を穿きませう又あなたの云ふ事を疑ぐ

るわけではございませせんが峯吉にも一應此事を聞いて見ます、どうぞそれまで常陸屋に行つて遊んでゐてお

くいなさいませう」

要「さうか、それでは沙汰を待つぞ」

と常陸屋といふ旅籠屋に引取つた、此方は門峯吉當時權右衛門の子分になつてゐる、在方へ遊びに行つてゐたがその日の暮方に歸つて來た

て來た

權「親分、只今戻りましてございませう」

權「オウ峯吉か此方へ來い今一杯遣り出した處だ、相手が無ければ酒がうまく飲めねえ」

峯「これは御馳走さまでございませう」

權「時にみね吉、おめえに聞く事がある、去年の正月上尾の足立屋で赤尾の林蔵を主は殺したか」

峯「エーわたしは一人で殺したといふわけではございませせん、兄弟分十八人で斬り込みましたがおかしは遅れて足立屋に行つた時二階からヒラリ飛び下りたは林蔵、目の前に奴が現はれまして竹槍で突きました」

權「ウーンさうか」

**梅毒** 淋病 皮膚病 婦人病 胃性 腸病

**林病** 十二指腸 腸虫病

**門專** 腸病

**院醫科** 七〇一話電

**村松** 町南平

**木村外科醫院**

平町五丁目橋際  
電話三〇九

て來た

權「親分、只今戻りましてございませう」

權「オウ峯吉か此方へ來い今一杯遣り出した處だ、相手が無ければ酒がうまく飲めねえ」

峯「これは御馳走さまでございませう」

權「時にみね吉、おめえに聞く事がある、去年の正月上尾の足立屋で赤尾の林蔵を主は殺したか」

峯「エーわたしは一人で殺したといふわけではございませせん、兄弟分十八人で斬り込みましたがおかしは遅れて足立屋に行つた時二階からヒラリ飛び下りたは林蔵、目の前に奴が現はれまして竹槍で突きました」

權「ウーンさうか」

**岩別府林**

天下の名湯別府温泉で出來た無効返金責任藥

りん病 こしけ 永らく悩む人の福音

全國知名新聞 こんなヨイクスリを未だ知らな

雑誌 推奨 い方がありませうか

右は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし慢性淋病、こしけ、濁濁の病みは不思議に止り連服するも絶對胃腸傷害なき各業であります。

尚ほ此の藥は責任速効藥で二日内服して効なき時は殘藥引換に全部異議なく返金します。

論より證據服した人は皆全快喜んで居ります。慢性、悪性の人は七日以上服差して下さい。

美本淋病治療書無代進呈、此の新聞各記入申込者に付前金申込者には送料無料、新品送藥す。

代金引換廿三錢手数料金納の事。

**藥價** 急性用(黒箱) 一週分 參圓  
慢性用(赤箱) 一週分 五圓

特約 一 平町古鍛冶町一〇

手販賣 **阿康藥舖**

縣社ノ下(電話四四番)

**磐城名産 魚問屋**

毎度御ひいき 有難ふ御座ります

うなぎの御用命は うなぎの奴

平町田町(電話二二番)

ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!

配達敏速

店代理平命生本日大最優最  
榮盛賀目丁四  
番三一電